

様子を再現したジオラマを見学しました。さらに、地元のか野昇医師たちによる病気の原因究明の努力、被害住民たちが団結して裁判勝訴に至るまでの過程、その後の汚染農地の復元事業や、今も続く発生源対策の取り組みについて学習し、イタイイタイ病の歴史や環境と健康の大切さに理解を深めました。



～展示室解説～

後半の「酸性雨を調べる実験」では、薬学博士の朴木英治氏に、今回初めての試みとして紫キャベツや重曹を使った水に関わる演示実験をしていただいた後、富山市内に約2か月の間の複数期間に降った雨水の酸性度を比較し、大気メカニズムと酸性雨が環境に与える影響を学びました。

演示実験では、興味深い現象に歓声が上がリ、雨水のpH(酸性度)を調べる実験では、試薬の扱いに苦労しながらも、参加者は真剣に取り組んでいました。



～演示実験(左上・紫キャベツ/右下・重曹)～



～酸性雨を調べる実験～

閉講式では野田館長から参加者児童全員に修了証が授与され、自由研究にも役立つ有意義な夏休みになりました。



『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します



10月21日(土)13時30分より、資料館2階 交流学習ルームにおいて、『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します。

集いでは、イタイイタイ病資料館のほか、四日市公害と環境未来館、新潟県立環境と人間のふれあい館、水俣市立水俣病資料館で活動されている語り部をお招きし、それぞれの地域で発生した公害について語っていただきます。

また、後半の意見交換会では、公害の被害や克服の歴史をいかに後世に伝えていくかを、四大公害病資料館の語り部、会場にご参加の皆様とともに考えます。

皆様、この集いを通して、公害の恐ろしさ、環境と健康の大切さ、命の尊さについて考えてみませんか。

参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。10月16日(月)までに、案内チラシ裏面の申込書に必要事項を記入の上ファックス、または資料館ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。

コロナ禍以前の2019年(令和元年)以来、四大公害病資料館の語り部が一堂に会し、対面での講話を一度に聴ける貴重な機会です。

皆様のご参加をお待ちしております。

詳しい内容や申込方法は資料館ホームページをご覧ください。

*案内チラシはホームページからもダウンロードできます。

「資料館ホームページ」

(URL : <https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryuu/1291/100002/r4densyokai.html>)